

埼玉県国際交流協会  
ホームステイ事業概要



## 1. ホームステイボランティアとは？

### (1) ホームステイ

ホームステイとは、外国人がその国の普段の暮らしを体験するために、一般の家庭に宿泊することです。ホームステイの受入家庭になることは、外国人に日本の生活を知ってもらうだけでなく、自分たちも外国の人の生活を知ることとなります。人と人が直接交流し、そこで学んだことは、特別な繋がりや理解を生むこととなります。

### (2) ホームステイボランティア

留学や研修で来日している外国人（以下、ゲスト）は寮やアパート、研修施設などで生活しているため、日本の文化や生活に触れる機会が少ない実情があります。そのようなゲストをご自宅に迎え入れ、一般的な日本の生活を体験できるように、ご協力いただくボランティア活動です。

### (3) ホームステイに参加する人

公益財団法人埼玉県国際交流協会内グローバル人材育成センター埼玉（以下GGS）の、県内会員大学の外国人留学生（短期留学生を含む）や、独立行政法人国際交流基金日本語国際センターの、外国人研修生（海外で日本語を教えている外国人の日本語教師や日本語教師になるための研修生）です。

主な依頼機関	GGS会員大学	日本語国際センター
ゲストはどこから来るの？	GGS会員大学に在籍している外国人留学生	海外から研修のために来日した外国人日本語教師
ゲストの年齢層は？	主に20代	主に30代～40代（研修により異なります。）
どのように対面するの？	ゲストが受入家庭に事前連絡し、家庭の最寄り駅で対面します。	土曜日10時20分に日本語国際センター（北浦和駅徒歩10分）のホールで対面します。
年に何回ホームステイがあるの？	令和4年度は年3回予定（依頼元から当協会のみが引き受けています。）	令和4年度は年5回予定（県内の市町村国際交流協会や市町村担当部署が引き受けています。（※1）
謝礼はあるの？	令和4年度は3,000円のQUOカードを、実施後に郵送しています。（※2）	1泊につき5,000円です。対面時にお受け取りください。
ゲストは日本語が話せるの？	ゲストにより日本語会話力は異なります。状況に応じて、やさしい日本語での会話をお願いします。	

※1 日本語国際センターのホームステイに関しては、埼玉県のワンナイトステイ事業という名称で運営されています。ワンナイトステイ事業参加の埼玉県内市町村がマッチングを担当しているため、当協会でも募集を行わない場合があります。

※2 謝礼は1泊2日のホームステイ実施の場合です。

※3 上記2団体以外にも依頼を受ける場合があります。

#### (4) ホームステイの期間は？

土曜日から日曜日の1泊2日が基本です。

依頼先からの希望により、長期（1か月～）を依頼する場合があります。

#### (5) ホームステイボランティアへの登録条件

○家族全員でゲストを歓迎して下さるご家庭

○埼玉県内に在住のご家庭

○ゲストが宿泊用に1部屋ご提供いただけのご家庭

○原則として家族が2名以上いるご家庭（単身世帯でないご家庭）

⇒1人暮らしの方は、当日お友達などに宿泊してもらい、複数名で受入ができればOK！

## 2. ホームステイの受入に際して

### (1) 心構え

ホームステイは、ゲストに普段の日本の生活を体験してもらうのが目的です。特別にお金をかけて準備する必要はありません。飾らない日本の家庭に招き入れることが、ゲストへのおもてなしとなります。

### (2) 下調べ

ゲストの国の歴史や文化、習慣などを調べておくと、会話の糸口となります。また、ゲストを理解することにもなります。日本や自分の住んでいる地域についても、調べておくと良いでしょう。

### (3) 言葉について

言葉はコミュニケーションのツールの一つです。ゲストも日本語が完璧という方は少ないです。語学力がないからといって不安になる必要はありません。簡単な日本語表現を使ったり、ゆっくり話したり、身振り手振りを交えたり、単語だけでも、時には筆談でも、工夫してコミュニケーションをとりましょう。大切なのは伝えようとする気持ちです。異なる文化を持つゲストとの交流を楽しんでください。



### 3. ステイ中のこと

#### (1) 家族全員の紹介

ゲストに家族全員の名前や呼び方などを紹介してあげてください。また、ゲストの名前を覚え、家族全員でその名前を呼んであげましょう。家族の一員として接することで、ゲストの緊張も和らぐでしょう。

#### (2) 家の中の案内

ゲストに提供する部屋、トイレ、洗面所、浴室、食事をする部屋、居間など、部屋を案内しましょう。お風呂の使い方、部屋の使い方を簡単に説明してあげてください。家でのルールをゲストにきちんと伝えましょう。また、最近はスマートフォンやタブレットを持っているゲストも多いです。もしWi-Fiを利用させてあげるなら、接続方法も教えてあげましょう。

#### (3) ゲストの好みなどを聞く

趣味や特技、宗教上の制限やアレルギーは、事前にお渡しするゲストのプロフィールでも確認できますが、間違いがあってはならないので、本人に確認しましょう。知らなかったばかりに、用意した料理が食べられなかったり、慣れないスケジュールで体調を崩してしまったりすることもあります。

#### (4) 滞在中の過ごし方

ゲストはホームステイを通して、日本の一般的な家庭生活を体験することを目的に来ています。必ずしも外に連れて行ってあげないといけない、と考える必要はありません。家族との交流がなによりの思い出となります。

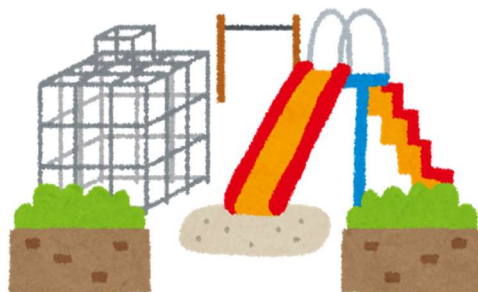
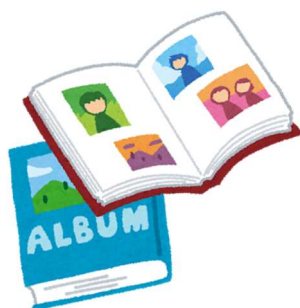
例えば・・・

- ・ 食事の材料を一緒に買い出しに行く
- ・ 食事を一緒に作る、ゲストの国の料理を作ってもらう
- ・ 近所を散歩する（スーパー、公園など）
- ・ 着物の着付け体験をする
- ・ 名所旧跡、歴史的建造物の見学

※神社・仏閣の参詣については、ゲストの宗教への配慮をお願いいたします。

#### (5) 外出

滞在中にかかる費用は、基本的にゲストが負担することとなっています。外出時に支払いが必要な場合は、ゲストに事前にどのくらいの費用がかかるか、きちんと伝えてください。



## 4. ステイ後のこと

### (1) おみやげ

日本人はおみやげを渡すことが好きですが、外国にはそのような習慣がないところもあります。原則的には、おみやげを渡す必要はありません。どうしても何か渡したい場合には、高価なものではなく、ホームステイの思い出となるものを贈りましょう。

### (2) その後の付き合い

ステイ中にゲストに今後も交流をしたい旨を、直接伝えてください。連絡先の交換については、受入家庭とゲスト本人にお任せしています。何かの機会にまた家に招いたり、ゲストの国に訪問したりなど、良い関係を築くことが出来ると良いでしょう。

## 5. 最後に

### (1) アンケートより

当協会では、ホームステイ実施後に、ゲストと受入家庭の双方にアンケート調査を実施しています。アンケート結果によると、ゲストの大半が「受入家庭は親切であった」「楽しかった」というものです。しかし、全てが好意的とは限りません。気になる事例をいくつかご紹介します。

#### 事例①（ゲストからの意見）

日本料理が食べたいと話したら、ウナギを食べに連れて行ってもらった。  
事前にいくらかかるかわからなかったので、支払い時に高額で困ってしまった。

#### 事例②（ゲストからの意見）

受入家庭の家族が仕事で関わった人が、自分と同じ国籍だった。  
その人の印象が悪かったようで、「〇〇人は嫌い」と目の前で言われ、悲しい気持ちになった。

#### 事例③（ゲストからの意見）

4人家族の家庭にホームステイをしたが、当日みんな出かけてしまい、お母さんと2人だけで、どこにも出かけることなく家で過ごして楽しくなかった。

#### 事例④（ゲストからの意見）

料理を作らされたり、子守をさせられたり、召使いのような扱いを受けた。  
ホームステイを楽しみにしていたのに、すごく残念だった。

#### 事例⑤（受入家庭からの意見）

プロフィールを見て特に好き嫌いがなかったが、用意した料理を全然食べてくれなかった。  
よくよく聞いてみたら、ものすごい好き嫌いがあった。

#### 事例⑥（受入家庭からの意見）

家に来てWi-Fiがあるか聞かれた。うちでは対応できなかったのが困った。

### 事例⑦（受入家庭からの意見）

一家団欒を楽しみたかったが、ゲストが携帯をずっといじっていたので交流を楽しめなかった。

### 事例⑧（受入家庭からの意見）

外食することを事前に伝えていたのに、お財布を持たずに外出した。

自分たちが支払うことになり、後からお金を請求することは気まずくて出来なかった。

日本では当たり前のことも、ゲストにとっては異文化です。日本人のような「以心伝心」はゲストにはわかりません。ゲストも受入家庭もお互いが、ホームステイが良い思い出となるよう、コミュニケーションをたくさんとってください。たとえ言葉が通じなくても、手振り身振りを交えて意思表示はきちんとしてください。曖昧であると、大きな誤解を招くこともありますので、注意しましょう。

## （２）協会からのお願い

ゲストは、関連機関の寮やアパート、研修施設で暮らし、滞在スタイルは限られているので、日本で家庭的な雰囲気を楽しむことは、なかなか難しいようです。日本滞在期間の一部を、せっかく来た日本なのだから、チャンスがあればホームステイしてみたいと考えている外国人はたくさんいます。そのようなゲストの思いを汲み取ってください。ゲストの国籍や宗教などに関わらず、受け入れてくださるようお願いいたします。食事制限や宗教上の習慣などへのご理解もお願いいたします。ゲストが大切にしているものを、大切にしてください。

また、せっかく楽しみにしていたホームステイなのに、「受け入れはもう嫌だ」「二度とやりたくない」という結果になっては、本当に残念です。ぜひ、ゲストとコミュニケーションをたくさん取ってください。たった一泊のホームステイでも、より積極的に理解し合おうとすることで心が通い、お互いが近くて大切な存在となることでしょう。

## （３）令和４年度年間スケジュール

回数	ホームステイ実施日	参加人数	依頼元機関
①	令和４年 ７月 ３日（日）	２６名	GGS会員大学
②	７月２４日（土）	３３名	日本語国際センター
③	８月２１日（日）	２１名	日本語国際センター
④	１０月２９日（土）～３０日（日）	若干名	日本語国際センター
⑤	１２月１０日（土）～１１日（日）	１５～２５名	GGS会員大学
⑧	令和５年 １月２１日（土）～２２日（日）	若干名	日本語国際センター
⑨	１月２８日（土）～２９日（日）	若干名	日本語国際センター
⑩	２月２５日（土）～２６日（日）	１５～２５名	GGS会員大学

上記スケジュール以外のホームステイを実施する場合があります。参加人数は申し込みの状況により増減します。詳しくは、メールでご案内いたします。

日本語国際センターからの依頼のホームステイに関しては、当協会で募集を行わない場合があります。

## ホームステイQ&A

Q 1. 語学力がないので、コミュニケーションに不安を感じています。

A 1. ゲストも日本語が完璧という方は少ないです。語学力がないからといって不安になる必要はありません。簡単な日本語表現を使ったり、ゆっくり話したり、身振り手振りを交えたり、単語だけでも、時には筆談でも、工夫してコミュニケーションをとっていただくと良いでしょう。大切なのは伝えようとする気持ちです。異なる言語・文化を持つゲストとの交流を楽しんでいただければ幸いです。

Q 2. ホームステイ中は何を過ごしたら良いですか？

A 2. ゲストはホームステイを通して、日本の一般的な家庭生活を体験することを目的にきています。必ずしも、外に連れて行ってあげないといけない、と考える必要はありません。ご家族の一員のように、温かい気持ちでお迎えいただくようお願いいたします。ご家族との交流がなによりの思い出となります。

〈例えば〉

- ・ 食事の材料を一緒に買い出しに行く
- ・ 一緒に料理を作る（日本の料理を作る、ゲストの国の料理を作ってもらうなど）
- ・ 近所を散歩する（スーパー、公園、神社など）
- ・ 着物の着付け体験をする
- ・ 家でアルバム（写真）やテレビ・雑誌などを見て、会話を楽しむ

Q 3. 食事はどんなものを出したら良いですか？

A 3. 特別なものをご用意いただく必要はありません。基本的には普段通りの食事をご用意いただければ問題ありません。一部、体質的な問題や宗教上の理由で、食事制限がある場合があります。その場合、事前にお渡しするプロフィールに記載がありますが、念のためお受入の際に、ゲスト本人にご確認ください。

〈外国人に好評な日本の料理一例〉

手巻き寿司、焼き鳥、天ぷら、焼きそば、肉じゃが、おにぎり、みそ汁など

Q 4. 小さい子どもがいるのですが、受け入れをしても問題ないですか？

A 4. マッチングの際に、ゲストに「ご家庭に小さいお子さんがいても大丈夫か」を確認していますので、全く問題ありません。小さいお子さんがいると、気持ちが和み、ゲストも受入家庭も互いに緊張がほぐれる場合もあるようです。

Q 5. ゲストにおみやげをあげても良いですか？

A 5. おみやげに関しての基準は定めておりませんが、あまり高価なものは避けてください。

Q 6. ゲストと交流を続けたいのですが、どうすれば良いですか？

A 6. ホームステイ中にゲストに今後も交流をしたい旨を直接お伝えください。連絡先の交換については、お受入家庭様とゲスト本人にお任せしております。交流を続けている方の中には20年近く連絡を取り合っている方もおり、今では家族ぐるみで交流を楽しんでいる方もいらっしゃいます。

## モデルスケジュール

1日目	15:00	ゲストを集合場所へ迎えに行く
	15:30	自宅に到着したら、家の中の案内や家庭内のルールを説明 ※家の中で入ってほしくない部屋、触ってほしくないものについては、はっきりと伝えるようにしましょう。
	17:00	夕飯の準備を兼ねて、スーパーへ買い物
	18:30	ゲストと夕食 ※夕食を取りつつ会話を楽しみ、ゲストとの距離を縮めましょう。後片付けなどは、できる範囲で手伝ってもらえると良いでしょう。
	22:00	入浴後、就寝 ※ホームステイ初日は、ゲストもホストも疲れていることでしょう。夕食後、一家団欒を過ごしたら、就寝してもらいましょう。翌日の朝食時間を伝えることを忘れずに！
2日目	7:00	ゲストと朝食 ※朝食の時に「よく眠れた?」「困ったことはなかった?」など聞いてあげましょう。
	日中	ゲストとの交流 ※ゲストの希望も聞き、何をするか決めましょう。 例) 歴史的な街並みや建築物、名所旧跡などの見学 日本の四季や自然が感じられる公園などの散策 日本文化体験(折り紙、書道、着付けなど)
	13:00	ゲストと昼食
	16:00	お別れの時間 ※忘れ物がないか確認しましょう。お互いに連絡先を交換しておけば、今後の交流も続くでしょう! ※ゲストの帰りやすい場所まで送っていきましょう。

ホームステイに関して、少しでも不安や疑問がある場合には、ぜひお気軽にご相談ください。

### ＜お問い合わせ先＞

公益財団法人埼玉県国際交流協会 (Saitama International Association)

〒330-0074 さいたま市浦和区北浦和5-6-5 浦和合同庁舎3階

TEL: 048-833-2995 FAX: 048-822-3808

E-mail: jigyo-01@sia1.jp (sia1の後は数字の1です)